



環境かわら版

<http://www.pref.aichi.jp/0000007029.html>

平成 29 年 12 月号 (第 259 号)

特 集

12 月は地球温暖化防止月間・
大気汚染防止推進月間ですP.2



「Let's エコアクション in AICHI」を開催しました (P8)



「こどもの森フェス 2017」を開催します (P4)



「あいち緑のカーテンコンテスト」を
実施しました (P7)



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



毎年12月は、地球温暖化防止月間・大気汚染防止推進月間です。

私たちが日ごろ使用しているエアコン等の電化製品や自動車は生活を便利にしてくれる反面、エネルギーを大量に消費し、地球温暖化や大気汚染を引き起こす原因の一つとなります。

【地球温暖化とは】

地球温暖化は、私たちの生活や産業活動から排出される二酸化炭素などの温室効果ガスが原因となって、大気や海水の温度が上昇するという現象です。このまま進むと将来、世界中で異常気象や生態系への影響、農業への被害など、人類にとって地球規模の脅威となる深刻な問題であり、国際社会でも大きな課題となっています。

【冬季の大気汚染】

冬は、大気が安定して大気汚染物質が拡散しにくくなるため、地上付近の空気が一年で最も汚れやすい季節です。特に12月は、年末の繁忙期を迎えて、自動車の交通量や暖房機器の使用が増加するため、大気汚染物質の濃度が高くなります。

愛知県では、月間中、工場・事業場への立入検査の強化、大気汚染物質の排出抑制指導及び各種広報媒体を通じた啓発活動を実施します。

また、県民一人一人にエコライフの実践を呼びかける県民運動「あいちエコチャレンジ21」を展開しています。

この月間をきっかけに、WARMBIZ（ウォームビズ）など、毎日の生活の中で一人一人が自分にできることから行動しましょう。詳しくはWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/taiki-ka/eco21/co2/index.html>)

【WARMBIZ（ウォームビズ）とは】

ウォームビズとは、環境省が推進する、寒い季節でも暖房に頼りすぎないで快適に過ごそうという取組です。寒い時は一枚多く着る、温かいものを飲むなど、ちょっとした工夫で20℃以下の室内でも快適に過ごすことができ、暖房時のエネルギー使用量とCO₂発生量を削減することができます。

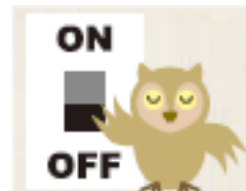
WARMBIZ

ウォームビズ

◆地球温暖化・大気汚染の防止にご協力を◆

地球温暖化をもたらす二酸化炭素濃度は年々増え続けています。
また、冬は暖房機器等の使用により空気が汚れやすい季節です。
家庭でできる小さな心がけで、地球温暖化・大気汚染を防止しましょう。

- 重ね着などの工夫で暖房は19℃を目安にしましょう。(WARMBIZ)
- 照明や電化製品はこまめにスイッチを消しましょう。
- こたつなどの設定温度はこまめに調節しましょう。
- 不要なアイドリングや、急発進、急加速を避けるなど、エコドライブに努めましょう。
- 公共交通機関や自転車を利用しましょう。



大気環境課地球温暖化対策室 温暖化対策グループ
電話 052-954-6242 (ダイヤルイン)
大気環境課地球温暖化対策室 自動車環境グループ
電話 052-954-6217 (ダイヤルイン)
大気環境課 規制グループ
電話 052-954-6215 (ダイヤルイン)

「あいち低炭素社会づくりフォーラム」を開催します

地球温暖化対策の新たな国際的枠組みである「パリ協定」の発効により、低炭素社会の実現に向けた新たな国際社会の取組がスタートし、国内でもこれまで以上に温室効果ガス排出抑制に向けた取組が求められています。

本フォーラムにおいては、住宅における省エネの取組等の講演やトークセッションを行い、低炭素型のライフスタイルについて考える機会といたしますので、是非ご参加ください。

1 開催日時

12月19日(火) 13:30～16:30

2 開催場所

中電ホール（名古屋市東区東新町1番地）

3 内容

(1) あいさつ

大村知事

(2) 表彰

自動車エコ事業所認定証 授与式

あいちCO₂削減マニフェスト2020 認定証 授与式

あいち緑のカーテンコンテスト優秀事例 表彰式

(3) 愛知県における地球温暖化防止に向けた取組

愛知県環境部

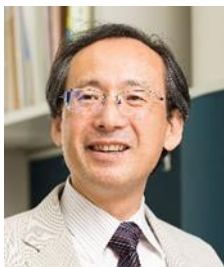
(4) 基調講演とトークセッション

- ・基調講演①「幼児から高齢者まで全世代の健康を守る低炭素建築のススメ」

講師：慶應義塾大学 理工学部

システムデザイン工学科

主任教授 伊香賀 俊治さん



伊香賀 俊治さん

【プロフィール】

早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学院修了。(株)日建設計 環境計画室長、東京大学助教授を経て、2006年より現職。専門は建築・都市環境工学。博士(工学)。住環境が脳・循環器・呼吸器・運動器に及ぼす影響実測と疾病・介護予防便益評価(科研費基盤S)などを研究課題とする。共著に『建築と知的生産性』など。

- ・基調講演②「住宅のエネルギー消費と省エネルギー」

講師：(株)住環境計画研究所

主席研究員 中村 美紀子さん



中村 美紀子さん

【プロフィール】

九州大学大学院修了後、科学技術振興事業団学術研究員を経て、2002年(株)住環境計画研究所に入社し現在に至る。エネルギー・地球環境問題の観点から、フィールドの現状分析を基礎とした家庭用エネルギーに関する調査研究や、近年は住宅の省エネルギー基準の策定に係る業務に従事。

- ・トークセッション「低炭素型ライフスタイルの推進について」

基調講演の講師に、気象予報士である名古屋文化短期大学 講師 早川 敦子さんがインタビューします。

4 申込方法

下記のWebページから参加申込書をダウンロードし、FAX又はEメールにより12月12日(火)までにお申し込みください(入場無料・先着400名)。

なお、定員に達した後に参加申込みがあった場合には、個別にご連絡いたします。

Webページ：<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/forum2017.html>

FAX：052-955-2029

Eメール：ondanka@pref.aichi.lg.jp

地球温暖化対策は、県民の皆さんがそれぞれの立場で行動していくことが重要です。

今回のフォーラムをきっかけとして、これからの事業活動やライフスタイルのあり方について考えていきましょう。

【大気環境課地球温暖化対策室 自動車環境グループ
電話 052-954-6217 (ダイヤルイン)】

あえる 「AEL ネットスタンプラリー」を開催中です



愛知県内の環境学習施設等 169 か所で、「AEL ネットスタンプラリー」を開催中です。

対象施設等への来館、講座・イベントへの参加によりスタンプを集めて応募していただくと、スタンプの数に応じて、抽選で図書カードなどの記念品がプレゼントされます。

1 開催期間

平成 30 年 2 月 28 日(水)まで

2 内容

ECO をテーマとした講座や見学会、観察会のほか、楽しい工作などを実施する施設等もあります。施設・講座によっては、予約が必要なものや有料のものもあります。詳しくは各施設にお問い合わせください。



スタンプ帳

※AEL ネットとは、「愛知県環境学習施設等連絡協議会【Aichi Environmental Learning Network】」の略称で、愛知県内の環境学習施設等が協力して、地域における環境学習の推進を図るために設置されたネットワークです。

3 記念品等

★A 賞～C 賞：いずれも図書カード

A 賞：【スタンプ 9 個】5,000 円分…抽選で 5 名様

B 賞：【スタンプ 6 個】3,000 円分…抽選で 20 名様

C 賞：【スタンプ 3 個】1,000 円分…抽選で 100 名様

★ W チャンス賞：A 賞～C 賞に当たらなかった方の中から、抽選で 300 名様にスタンプラリー参加施設のオリジナルグッズがプレゼントされます。

4 応募方法・締め切り

専用応募はがき又は応募台紙にスタンプを集め、平成 30 年 3 月 7 日(水)【必着】までに事務局（あいち環境学習プラザ）へ郵送してください。

詳細は Web ページをご覧ください。

(http://aichi-eco.com/ael_stamprally/)

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011（ダイヤルイン）

「こどもの森フェス 2017」を開催します！

子どもたちが自分の手で楽しい森づくりをする「げんきの森づくり」を、モリコロパーク内のもりまなびやの学舎周辺の森で、今年 6 月から行っています。

これまで 2 回の活動で子どもたちが手入れし、あそび道具づくりを行った森で、自然遊びを楽しむ「こどもの森フェス



2017」を開催します。こ 第 2 回（9 月実施）の様子子ども森づくり教室やクイズラリー、クラフト作り等を参加費無料で実施します。皆様のご参加をお待ちしています。

1 日時

12 月 16 日（土）10:00～14:00

（荒天予備日 平成 30 年 1 月 27 日（土））

2 実施場所

愛・地球博記念公園（モリコロパーク）内
もりの学舎周辺の森（親林楽園）

3 対象・募集人数

どなたでも参加いただけます。

「こども森づくり教室」は事前申込みが必要です。
（小学生とその保護者 50 名）

※この活動は、東京海上日動火災保険(株)の「Green Gift 地球元気プログラム」の一環として実施します。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/>)

[kankyokatsudo/genki3.html](http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/genki3.html))

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011（ダイヤルイン）

まなびや
もりの学舎冬の特別イベントを実施します！

「もりの学舎」では、冬の特別イベントとして、親子で参加できる工作教室を開催します。

多くの方のご参加をお待ちしています。参加費は無料、先着順で予約を受け付けます。

1 開催日時とプログラム

12月23日（土）、24日（日）

①ちびっこクラフト 10:30～11:50

②おやこクラフト 13:30～15:30

2 対象、募集人数及び内容

①ちびっこクラフト

- ・ 幼児（3～6歳）とその保護者、各日20名程度（保護者1名につき幼児2名まで）



森の干支かざり（イメージ）

- ・ 木の枝で、来年の干支である「いぬ」の干支飾りを作ります。

②おやこクラフト

- ・ 小学生とその保護者、各日20名程度（保護者1名につき小学生2名まで。小学生未満は同伴できません）



お正月リース（イメージ）

- ・ 縄をなつて木の実などを飾り付け、お正月飾りを作ります。

3 開催場所及び申込み・問合せ先

もりの学舎（愛・地球博記念公園内）

電話：0561-61-2315 FAX：0561-61-2328

詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/>

[kankyokatsudo/winter.html](http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/winter.html))

（環境活動推進課 環境学習グループ

電話 052-954-6208（ダイヤルイン）

「3010運動推進キャンペーン」を実施します

まだ食べられるのに捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」が日本では年間約621万トン（農林水産省及び環境省「平成26年度推計」）にも上り、国民一人当たりに換算すると、毎日お茶碗約一杯分のご飯を捨てていることになります。

特に、宴会の席では7皿に約1皿（14.2%）が食べ残しとして廃棄されており、これはレストランにおける食べ残し（3.6%）の約4倍の量です。（農林水産省平成27年度食品ロス統計調査（外食調査））

この食品ロスの問題を広く知ってもらい、削減に取り組んでいくことを目的として、12月・1月の忘年会・新年会シーズンに「3010（さんまるいちまる）運動推進キャンペーン」を実施します。



啓発用ポスター

「3010運動」とは、宴会の最初の30分と最後の10分にみんなで食べる時間を設けて、食べ残しを減らす運動です。

宴会の際には、最初の30分と最後の10分に食事を楽しむ時間を設けてください。また、出席者の皆さんは、「もったいない」を意識して、残さず食べることを心がけてください。

食品ロス削減につながる「3010運動」の推進についてご協力ください。

詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/>

[soshiki/junkan/3010campaign.html](http://www.pref.aichi.jp/soshiki/junkan/3010campaign.html))

（資源循環推進課 一般廃棄物グループ

電話 052-954-6234（ダイヤルイン）



啓発用チラシ

平成29年度第2回アスベスト対策に関する講習会を開催します

アスベスト（石綿）は過去に建築物等の材料として多く使用されており、建築物等の解体等工事において、大気中への飛散を防ぎ、健康被害を引き起こさないためには、大気汚染防止法等に基づき、適切に解体等工事を実施することが重要です。このため、アスベストの飛散防止対策等について学んでいただける講習会を、全3回シリーズで開催しており、このたび、第2回の講習会を開催します。

- 1 日時 12月18日（月）13:30～16:00
- 2 場所 愛知県西三河総合庁舎 10階大会議室
（岡崎市明大寺本町1-4）
- 3 主催 愛知県アスベスト対策協議会、愛知県、岡崎市
- 4 定員・参加費 200名・無料
- 5 講演 「解体工事等に係る事前調査について
～アスベスト含有建材の基本の基～」

講師：一般社団法人 JATI 協会 技術参与

浅見 琢也氏（アスベスト診断士講師）

※この他、愛知県職員による大気汚染防止法等についての説明があります。

6 申込方法

所属、氏名、参加人数、電話番号、Eメールアドレスを記載のうえ、FAX（052-953-5716）又はEメール（taiki@pref.aichi.lg.jp）により、12月11日（月）までに環境部大気環境課宛てお申込みください。

詳細はWebページをご覧ください。

（<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/taiki/2902asbestokosyukai.html>）

（大気環境課 規制グループ
電話 052-954-6215（ダイヤルイン））

水質環境基準の水域類型の見直し（案）について ～パブリック・コメントの募集～

環境基本法に基づき、生活環境の保全に関する環境基準（水域類型）が定められた県内河川の水域類型の見直しを、平成28年度から31年度にかけて、順次実施しており、今年度は西三河地域を流れる矢作川水域で実施しています。

見直しの案について、県民意見提出制度（パブリック・コメント）に基づき、ご意見を募集しています。

1 意見募集期限

12月27日（水）まで（郵便は当日消印有効）

2 水域類型の見直し（案）の閲覧・入手方法

愛知県のWebページ（<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizu/29suiikiruikei.html>）から、資料と意見提出用紙を閲覧・入手できます。

また、県民相談・情報センター、各県民相談室などで閲覧できます。

3 意見の提出方法

意見提出用紙により、お住まいの市町村名、性別、年齢、職業をご記入の上、郵便、FAX又はEメールにより提出してください。

＜提出先＞

郵 送：〒460-8501（住所不要）

環境部水地盤環境課

F A X：052-961-4025

Eメール：mizu@pref.aichi.lg.jp

4 提出いただいたご意見への対応

- ・水域類型を見直す際の参考にさせていただきます。
- ・いただいたご意見については、概要等をWebページで公表します。

（水地盤環境課 調査・計画グループ
電話 052-954-6221（ダイヤルイン））

「あいち緑のカーテンコンテスト」を実施しました

愛知県では、エコライフ実践の輪を県内に広げる県民運動「あいちエコチャレンジ21」の取組の一つとして、「緑のカーテン」の普及を図るため、平成21年度から「あいち緑のカーテンコンテスト」を実施しています。今年度は110事例の応募があり、その中から優秀事例を決定しました。

◇ 住宅部門

○最優秀賞

新田 順義さん（東海市）



植物の選定や育成が緻密な計画のもと進められており、取組の成果も様々な方法でPRされています。

○優秀賞

- ・山城 英司さん・佳代子さん（刈谷市）
- ・荒樋 昭雄さん（豊橋市）

◇ 幼稚園・保育園・児童福祉施設部門

○最優秀賞

しおつ児童館 塩津児童クラブ（蒲郡市）



緑のカーテン作りをきっかけとして地域との交流が生まれ、普及啓発にも取り組まれています。

○優秀賞

- ・学校法人名古屋 東学院 東 貴船幼稚園
- ・半田市立亀崎児童センター

◇ 学校部門

○最優秀賞

豊田市立竹村小学校



取組を学校便りで広報したり、環境学習にも生かすなど、普及啓発にも工夫がされています。

○優秀賞

- ・豊田市立上鷹見小学校
- ・豊田市立御作小学校

◇ 事業所部門

○最優秀賞

トヨタ自動車(株) 明知工場（みよし市）



屋上まで伸び、工場壁面を覆うインパクトのある緑のカーテンとなっています。

○優秀賞

- ・角文(株)（刈谷市）
- ・(株)デンソー 西尾製作所 408 工場「緑の武将隊」（西尾市）

◇ 審査委員特別賞

- ・半田市立さくら小学校
- ・タイハウコーポレーション(株) モスバーガー守山中央店（名古屋市）
- ・尾張旭市西部浄化センター

下記の Web ページでは、優秀事例の詳細を見ることができます。皆さんもこれらの優秀事例を参考に、緑のカーテンに取り組んでみませんか。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/greencurtaincontest-29happyu.html>)

大気環境課地球温暖化対策室 温暖化対策グループ
電話 052-954-6242（ダイヤルイン）

「Let's エコアクション in AICHI」を開催しました

日常生活における地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」の輪を広げていくため、11月18日（土）と19日（日）の二日間、アスナル金山とその周辺で「Let's エコアクション in AICHI ～巻き起こせ！エコ旋風～」を開催しました。

また、食品ロスの削減をテーマとする「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を併せて開催しました。

（右ページ参照）

オープニングセレモニーでは、大村知事が出席し、応募総数 1,285 点のエコ川柳の中から選ばれた受賞者を表彰しました。（右ページ参照）

その後、出演者や来場者の皆さんと一緒に「エコアクション」の実践を誓い合う「あいちエコアクション宣言」を行いました。



知事挨拶

18日の午後には、フィギュアスケーター小塚崇彦さんと環境部長がトークショーを行い、暮らしの中でできるエコアクションを継続していくことの重要性を呼びかけました。



小塚崇彦さんトークショー



19日には、環境戦隊ステレンジャーが来場者とステージで環境エクササイズを披露した後に会場周辺の清掃活動を行ったほか、東海三県一市グリーン購入キャンペーンとして環境にやさしい買い物クイズを行いました。



ステレンジャーショー



買い物クイズの様子

また両日にわたって「あいちエコアクション広報部」に任命されている地元アイドルグループOS☆U^{オーエスユー}はっとりはんぞうや服部半蔵忍者隊、地元エンターテインメントグループ祭nine.^{まつりナイン}などがエコアクションクイズなどでイベントを盛り上げました。



OS☆Uによる
エコアクションクイズ



服部半蔵忍者隊による
エコアクションクイズ

さらにステージでは、環境活動に取り組む学校や団体による活動発表などを行いました。各ブースでは環境活動に取り組む団体の展示やワークショップなどを行って、来場者の皆さんに、楽しみながら様々な「エコアクション」の理解を深める体験をしていただきました。



ワークショップの様子



愛知県では「エコアクション」の輪が県民の皆さんに一層広がっていくよう、引き続き様々な取組を進めていきます。

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）

「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を開催しました

まだ食べられるのに捨てられてしまう食品、いわゆる**食品ロス**。県民の皆さんがこの問題に取り組んでいただくきっかけとなるよう、食品ロスの削減をテーマに、11月18日（土）にアスナル金山で、「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を開催し、大村知事とフィギュアスケーター^{あさだまい}浅田舞さんとのトークショーや愛知県のイベントとしては初めてとなる**フードドライブ**※、NPO法人セカンドハーベスト名古屋による活動発表を行いました。

トークショーでは、浅田さんから選手時代の海外でのエコ体験や、料理の際の工夫などのお話があり、また、知事からも食品ロス削減の取組を紹介するなど、



トークショー

来場者の皆さんに食品ロスについて考えていただきました。

また、今回のフードドライブでは、合計622点、約190kgもの食品の寄付があり、



集まった食品の一部

セカンドハーベスト名古屋を通じて、食品を必要としている方へお届けすることができました。

今後も、県では食品ロスの削減など、ごみゼロ社会の推進に向けた取組が県内全域に一層広がっていくよう、様々な事業を行っていきます。

※フードドライブ：家庭で余っている食品を持ち寄り、地域の福祉団体などに寄付する活動

〔資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234（ダイヤルイン）〕

エコ川柳優秀作品を紹介します



愛知県では、エコアクションを題材とした「エコ川柳」を6月30日から9月15日まで募集したところ、1,285作品の応募があり、審査委員会（委員長^{あらかわや すお}荒川八洲雄中日川柳会会長）で入選作品22作品を決定しました。今回はその中から、最優秀賞と優秀賞の作品を紹介いたします。

○最優秀賞

おさがりでエコのバトンをつなげよう

（こども部門・^{ひらの}平野めぐみさん（中1））

○優秀賞

朝昼晩のこさず食べてゴミへらす

（こども部門・^{たけがわあやの}竹川綾乃さん（小4））

捨てるより少し足りぬがちょうど良い

（おとな部門・^{そうすけ}蒼介さん（40代））

「Let's Eco Action in Aichi」のオープニングセレモニーで表彰式を実施し、最優秀賞、優秀賞、エコアクション賞、OS☆U 賞の受賞者には、知事や審査委員長、OS☆U から賞状と記念品が贈呈されました。また、会場内で入選作品を展示しました。



最優秀賞受賞の平野さん



エコ川柳表彰式

皆さんも、優秀作品のようなエコアクションに、日ごろから取り組んでみてはいかがでしょうか。

県では、今後も県民の皆さんに日常生活の中で地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」に取り組んでいただく運動を推進していきます。

他の作品や、作品に込めた思いなどはWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/>

kankyokatsudo/ecosen2017.html)

〔環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）〕

連載 「あいちの未来クリエイト部」の活動を紹介します(2)



～愛知県立木曽川高等学校 総合実務部～

高校生が、環境問題について調査・研究を行って環境学習プログラムを作成する「あいちの未来クリエイト部」の活動が7月から10月にかけて行われました。

今回は、「愛知県立木曽川高等学校 総合実務部」の皆さんから紹介させていただきます。

【活動データ】

テーマ：

イタセンバラを守れ！広報活動とワンドの保全活動

グループ名：

愛知県立木曽川高等学校 総合実務部

アドバイザー：

岐阜経済大学 もり せいいち 森 誠一 教授

ファシリテーター：

環境省中部環境パートナーシップオフィス
チーフプロデューサー しんかい ようこ 新海 洋子さん

木曽川には、国の天然記念物に指定されている淡水魚「イタセンバラ」が生息しており、私たちは数年前から生息地の保全活動に参加しています。この活動の一環として、地域の人にイタセンバラに関するアンケートを行ったところ、若い世代を中心に認知度が低い結果となりました。このことから、「もっとイタセンバラを知ってもらい、地域一丸となって保全活動が行われるようにしたい」との思いを持って参加しました。

＜調査・研究＞

イタセンバラの世界で3地域しかない生息地の一つである淀川水系（大阪府内）の保全活動の見学などを通して、イタセンバラの詳しい生態や様々な保全の方法があることなどを学びました。多くの住民がイタセンバラを守ろうと努力している姿を目の当たりにし、「私たちの地域でももっと保全活動の輪を広げたい」と強く感じました。

＜プログラム作成＞

イタセンバラとそれを育む木曽川は貴重なものであることを感じてもらうため、イタセンバラの生態や自分たちの保全活動、木曽川の環境を楽しみながら学ぶことができる「イタセンバラ(板鮮腹)かるた」を作成しました。子どもにもイタセンバラの特徴等が正しく伝わるように、アドバイザーの森教授の指導のもと、読み句や絵札を一言一句考え、オリジナルティのあるかるたが完成しました。

また、10月29日に東海市で開催された「ユネスコスクール交流会」（主催：県教育委員会）にワークショップを出展し、来場者にかかるたを試してもらい完成度を高めました。



参加メンバー



プログラムの検討



ユネスコスクール交流会

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）

愛知県環境情報紙「環境かわら版」

平成29年12月4日発行(第259号)

編集・発行 愛知県環境調査センター

企画情報部

〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6

電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

編集後記

今年も残りわずかとなり、これから本格的な寒さが訪れます。朝、布団から出るのが億劫に思える反面、起きてしまえば冬の透き通った空気は心地良く身が引き締まります。

12月は地球温暖化防止月間・大気汚染防止推進月間です。いつまでも透明な空気が味わえる冬を迎えられるよう、私たち一人ひとりが出来ることから行動してみませんか。

(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。